## 親。廉低。實 吐會互相險保命当

加入案内あり贈呈

東京京橋第一相互館



粧保ちがよくて崩れぬ 色白のお肌ごなし、化 つけた白さが生地の美 £

> 京、東 店商平赞尾平

> > 之等によつて有熱患者深部充血の目的を達し

近代好みのお 化粧には 肌色 レート粉 白 粉肌色 レート水 白 粉 生れつきの美しさにするお顔色のすぐれね方にも増し、また中年の方や

狀態に妊影響を異へる目的に叶ム故患者精神

つて障碍症状を惹起すれば却つて過剰低さな

芥子配巴布は殿密な

は何等危險なく極めて

順調に皮膚血管捕張。

毎月 日開始 運轉手養成

9 ノーシンー ノーシンⅡ 頭痛にノーシン・

ンイワトーポ至赤 舌皷!

この一杯こそ 康への投資である その餘剰價値 そは軍

實元

塩 野 義 田 長 兵

商商店

名

<del>能</del> 町社

エキホスの の經過を短縮せしめる

全國薬店に販費す 感冒、 肺炎、 打撲痛、凍傷等已好過なる D 100五 四十五銭 1 肋 7 膜炎、 チ ス、 咽 齒喉痛痛 度の感觸よく、保温の 後来の温布よりも皮 こ 含有栗物個々の作用によつて疾病経過に好 四大特徴 の安静を破るここかく

エキシカ・ホスピン合併改食品

EX. 151 



無機等百人一首の 「大きない」 「たっない」 「たっない」 「たっない」 「たっない」 「たっない」 「たっない」 「たっない」 「たっない」 「たっない 東面 国八十九段送料十四段 東面 国二十六段送料十四段 東面 国二十六段送料十四段 英島者イ

巡洋艦を購入

國民政府が英國から

濱口さん愈よ

廿日とろ退院

見舞つて吳れた人々に對し

教專奉天市民大會

大いに輿論を喚起

決議を要路に打電す

- 懸篤な禮狀を出す

の調査を命じたが、這は国民政府が日本で漸驟に囲する交遷を際始せんさする準備で見られ重大視さ歓晩調査を命じ鐵道部も交通委員會に繋ら消緩の現版、收入域の主要原因及び其の日本人への影響等、上海十八日養電通 国民政府は東北交通委員會に黙し清測に於る答編施設や態略資料の薬集及び具

上に就いて私々融版する處あつたとは、向骨職中より花井野務局長と

意味も激能寿金及び利子線入れな れ等の財滅がないので概定能に一 時滅ぎの方法に出てたものであるに業替へる事は根本能振光整理な 要するので現在の財政狀態では、 時滅ぎの方法に出てたものである

米穀證券

勞働組

日法案に

5るゝも其の實決して然らず我。 があつた『安東電話』

漁港を根本調査

關東州水產會評議會

六年度の豫算を協議した

貝本家后

及對を表示

内相主催の懇談會

今議會に提出

天津から飛行機で

きのふ張氏歸奉す

滿蒙問題の交渉に

國民政府の準備

東北交通委員會に對して

の る事さする意見につき様に分科委 | 終したが、恐らく枯���� 自から陳會された歐州歌歌教会は | ボーン・ア | でルン・ア | である。 | であ

結局招請か

参加せん

200

妨害態度に出で

議場は混亂せん

体會明の首相代理演説

各種の調査を命す

霧祉事件

議會對策を協議

太田新總督も出席し

きのふ拓相官邸にて

する反字立三派の排

六、支那のスター リン李立三の末路

日の第三インターの職業に合った

克

見 月廿五日信の決喩文とで、 一 とた第三インターの通告さ、これ 現すや、湖沿にレーニン主義の前 一 とた第三インターの通告さ、これ 現すや、湖沿にレーニン主義の前 の館 師ち李派に反繋の耐忠者、瞿秋 耳り、中國スターリンさまで眼は やけ の館 の決喩だとで、これ 現すや、湖沿にレーニン主義の前 は やけ

の特別を記した。 の特別に対しても対象を に然ても連続を他国が であった数章にかける の特別を他国が が他国が のであった数章にかける のであった数章にかける のであった数章にかける

松 場所に於て陸場かなすべる 場地に貨物が輸入せんさするも のは新轄警察署長の指令とたる のは新轄警察署長の指令とたる

の は密輸入着くは密輸出せんさし を 第四條 第一條の規定に違反も文 を 第四條 第一條の規定に違反も文 に密輸入着くは密輸出せんさし

の緊ਆを離れた後國

もこれを以て飛ど板圏 は一脳風観さなり進つて

帝國の威信を

中外に發揚する

米澤安東領事語る

サ州學校本業程度の者) 納八十名 校本業生) 校四十名、B科生(中等學 校本業生) 校四十名、B科生(中等學 ・

所生徒募集

大連遞信講習

しこれが禁頭を撤離する動わり来して発展保護者へ貼れる味かなした要果機能では同感管権政権会に禁しの総彩差別総別最低統分なりさし

満洲で南京で上海

家な郷

は、今や李立三の薫内に於ける様のは現在松郡を都の食ふべき響のし、今や李立三の薫内に於ける様のは現在松郡を都の食ふべき響のた。 一九二七年園民薫さ規形書さが、郷三インターに終める。 一九二七年園民薫さ規形書さが、郷三インターに終めるが、郷充洋師をも行ひ、観想ない。 一九二七年園民薫さ規形書さが、郷三インターに終めるが、郷充洋師をも行ひ、観想ない。 で、又中國規風薫る都に続てもる態度をさつた。 一九二七年園民薫さ規形書さが、第三インターに終めるが、第三インターに終める。 一九二七年園民薫さ規形書されるので、又中國規風薫る都に続てもる態度をさつた。 一九二七年園民薫さ規形書されるので、又中國担風薫る都に続てもので、又中國担風薫る都に続てもので、又中國担風薫る都に続てもので、又中國担風薫る都に続てもので、又中國担風薫る都に続てもので、又中國担風薫る都に続くもので、又中國担風薫る都に続くした。

大田野電通」常大鵬田外 | 終五百ほざある、これ等全国民の | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 200

【孝天特置十八日璧】 教製の在版 一覧部並に決議な距離し十八日年後六 の製造が機然機能は十八日年後六 時から郷天地が季戦き、區長機代 主催のもさに公舎堂において歌歌の組織および内容につき歌明。 変々起って態態を距離して別舎、個長機代 で十齢名の線土の微説會において歌像 が代表の線土の微説會に移り で大いに奥り えがあった

関補州殺道は式會社が公約を無一 | 古野し、昭和六年一月九日附社 | 他裁さ會談する害である|| 古人は雨淅洲縄道株式會計組裁 | 十八日帰連し、十九日帰

**陽綠江面の密輸出入** 

取締の廳令を發布

支那側との問題一掃

司法設備 改善訓令

意際省政府は職事総判断解交債の 監際省政府は職事総判断解交債の 監際省政府は職事総判断解交債の 監際省政府は職事総判断解交債の に対して左記倉庫の職合を名縣 に対して左記倉庫の職合を名縣 うらる丸・十九日午前八時

会の中側板上内に傾塞級判を認 会の中側板上内に傾塞級判を認 を表するものであり遺憾この 上もない。その徹臓か實現する 前提さして何囲よりもその拒絶 で質の充質を調る必要ありその 能力をよるできないまでに ででの表質を調る必要ありその を表達を表すべし「機順 はたな速度を調を必要ありる。 ◆中川四脚氏(単頭事務所灌運係主任)十八日午前十時出帆のは るがん丸にて内地へ 本中宮消美氏(第一単町係主任)同上 

り 放気を使っているというないでは、 は素味らしいニュースだ。それに してもこの心影楽時代に放寒戦に してもこの心影楽時代に放寒戦に とでもこの心影楽時代に放寒戦に とでもこの心影楽時代に放寒戦に 四、時勝が第で利く院も標準的で、対土の様に不自然でない。二、ゴムの様に不自然でない。 五〇番 未 定價各二酮也 定價各二酮也 完配 用 發 付談明書を作附し 東京市日本橋屋本石町四丁目 東京市日本橋屋本石町四丁目 

飛道十数名の脳障者方からは

日、英米佛專賣特許出願(內務省層灣)

た理な的高的要人である。

任臺灣總督府秘書官 小林織太郎 一次の「おっている」という。

世界唯一の野駅

一層の果を確当にせんため、我戯に然て動物の健康等によて製心に挑戦し、今では各版の動脈が認めた、オランダ歌ベッサリーのゴム膜を軽に光で動物の健康等でではで製心に挑戦し、今では各版の動脈が認めた、一層の果を確当にせんため、我戯に然で動物の健康等ででは、一層の果を確当にせんため、我戯に然で動物の健康等ででは、最近に表現がしたるスキンベッサリーである。

安全に使へる姙娠調節要具御婦人自ら、手軽に正しく 產兒制限

支那南北の

『セネバー七日養電道』欧州歌歌 お歌加せしむべきや否やに動き十七日討論を励さたが解決に至らず というの問題に称きたが解決に至らず

土参加問題

グランデ製な是職し之

トルコ限国を行委員會の根底計算

しめる事に十九日表決さ

歐洲聯盟案委員會

無量和人國以外の國の代表 委員は恐らく組革する決議文に である。

主張し一冷戦を見せるから知れないまないとなった。

イッ及イタリー代表は壁に棕灰地のロシャに跳し森かな頭へるドル焼きに致るものない様される。

法案提出は未定

各方面に疑議を生ず

へ管失業防止の

社

R

反當八石收獲確實

捜査船の消息も不明

では、水敷料合の間による

◆一久し振りに會談したダグラスと早川

全く望みなしり

▲一着坂口正行一分四〇秒九、男子中等學校五百米

ンクで學行

關東州水滑大會 鏡ケ池リ

(省曜月)

一十七日午後十時二十分ごろ大連大 ・一十七日午後十時二十分ごろ大連大 ・一名は原外に見場ななら二名は ・一名は原外に見場ななら、 ・一名は原外に見場ななら一名は ・一名は原外に見場なる。 ・一名は原外に見場ななら一名は ・一名は原外に見場なる。 ・一名は原外に見場なる。 ・一名は原外に見場なる。 ・一名は原外に見場なる。 ・一名は原外に見場なる。 ・一名は原外に見る。 ・一名は原外に見る。 ・一名は原外に見る。 ・一名は原外の上に ・一名は原外に ・一名は ・

**海波萬里を**へた

5

三川に便の芝居を見に

學生スキ

と雪洲が會話

整備報工部級は養難して整ってある。
会外の経点機ないカンド號さ我能能ないが必要が全にキャッチで、
る十四日本完全にキャッチで、 一九三一年の初春に相應し

日米兩花形の握手

界のネッケー戦が興味の中心さな 會で早大優勝

滿洲軍優勢

池田小兒科門醫院 明本別院に於て 寺関東別院に於て ・ 本教候間 ・ は、 本教候間 を件

浦 

孙

##本さんは内務知の出身でわが 情界様れにみる人格者です、殊 情界様れにみる人格者です、殊 情所像自な以て知られ、行政 に明るく法制に通じ、練連堪能 に明るく法制に通じ、練連堪能 の士と言ばれてなるだけにその の世極りも群を抜いて早い、私 一既を験ふべきであらう 職東長管がざんな方であるかその のでは、新に理べるわれ等の

一大内郷大官、法線原長官或は戦や 大内郷大官、法線原長官或は戦や かな内職者記官長まで郷めた総本 かな内職者記官長まで郷めた総本 する程の質料さた、職業さだ、ド する程の質料さた、職業さだ、ド

ない。 ないまでは、 ないまでは、

さおつしやる「多代中失職さは考

この通りのお客だがそれでよろ

畑正に一時間学、数分配の検束が骨にお暖な告げたが、この會見時知が楽たのは……記者はそれな

拳銃と見せかけ

を行つなが

優中電燈で脅迫

香爐礁で强盗を逮捕

さ入れ替りに樂歌湖やく歌港間の すち上なさころだつた。で、それ す 用談を終へたこみへてドヤく

日九千月一年六和昭

愛兒人 長春丸から投身自殺す 0 お け な たりを道づ 塚本さん 概、、、下は、下は、、下は……入り離れ石にお頭ひ客でゴッタ返むてゐる

国 村の始起した。原政は失職して妻と別いて挟身 を は 悲観した結果、 様誠に 異版か楽して まさか 失職して妻ごの別離を悲觀の男

市原多美子同市原多美子同市川昌俊 三十二种二

卓球女子選手權大會

日

支那人雜貨商

二人組の

强盜

ピストルを突きつけ

有金を攫つて逃ぐ

◆女學生五百米 一着木村千代子一分一七秒九、 一着木村千代子一分一七秒九、 一着オ水翠▲一着本山翻子一分 一二秒九、二着碓井ヨシ子▲一 清州草城協会設能後援の全議州女 り山本橋小県校職堂に於て繋行されたが矢野戦像職とた(〇は脚×

第一回眼 第一回眼 第一回眼 第一次田×▲○海地—三 木×▲○小运原—水野×▲○矢 野—太田×▲○宮地—越智×▲ ○江良—中村×▲○綾郡—秋吉 ×▲○池田—森×▲○年島—立 花×▲ 佐賀—柳原×▲○立山 「深翊×

(時者派)▲○海地-立山×▲○矢野-池田×▲○安藤-立花× ▲○江原-大野×▲○鹿島-金子×▲○山牧-宮地×▲○小屋原-港×▲○住賀-線部× (敗退者親)▲○非田-深州×▲ ○水野-教吉×▲○三木-中村×▲○柳原-森×▲○平島-米 被部×▲○立花 捲×

一一一四枚久子 〇大野一立花×

容器 石 炭は 一噸32 袋 牛噸6 袋 四牛噸3 袋 一噸3 袋 牛噸6 袋 四牛噸8 袋

電話五五〇二番

探暖燃料瓦斯コー理想的瓦斯コー 特色 [無清向 年中煙筒掃除の必要がありません ーク ス

り来つた光紫の家庭らしい戦やか ださいふ戦然振り、如何にも根郷 ださいふ戦然振り、如何にも根郷 にさいふ戦が振り、如何にも根郷

O......

(可認物更繁殖三第)

らの新長官と語る

簡素な東京市外戸塚の

サンに取次いで買った

でうせ難くは待たせられると思ったが像脚に戻して新長官は自らそれが像脚に戻して新長官は自らそれが像脚に戻して、ヤアさきふ無軽さ、みれば不聴着の無道。

お祝ひ客でゴツタ返へ

9

3

は」「御外順線は」「側地球は」「側線接は」など遊戲のない質問でいちく」など遊戲のない質問でいちく」など遊戲のない質問でいちく」「脚球は」 電販で電記概率式がある」配の通 管長からの電話で『これから機準 管長からの電話で『これから機準 でいちく丁寧に順答する、既に臨い職もせすに、幾後に記者は特に認定して長官、夫人、今天衛子

一般しつと終へ出た の・悪へ出た

◆パック運び ◆一着宮腰帽、二着川井洸◆一 着客具孝子、二着伊東正夫 一着宮腰帽、二着川井洸◆一 矢野孃優勝

「大學時代の御同級で世間に知られてある方は?」 「大學時代の御同級で世間に知られてある方は?」 「そうですれ、鑑泣次官の背木君文部次官の中川君。元大藏次官の中川君。元大藏次官の時期事などで」







日本各地名産 酒 シュークリー スキトポテー 4 000

商務會から陳情

戸敷割の輕減方

土地貸付料と

ニュース

講習會

徒らに年は逝き月を迎へ

たゞの一萬二千餘人

日をの物飲湯とはここの「日本の地域」というない。 (松時か後服的の電影 今前月末現在にかける体験なる数ででなる人) を当はれ 東じて見る ででならん」を当はれ 東じて見る でで見る

倆鐵新年宴會

業生資格問題

トホテルに放て債不便 あつたが、家主職は大き一物値下新年窓は十七二年後六 主たる伊藤根に黙し交流をなす處 頗る盛會を極む 流洲野大東門郡卒業生の資格問題 だか総ギ獣扇に対徴を割りてある が、東門郡學生體でも記述を総・ が、東門郡學生體でも記述を が、東門郡學生體でも記述を が、東門郡學生體でも記述を が、東門郡學生體でも記述を が、東門郡學生體でも のでもこが解決 

思よ二十六日に

金大間幹線道路際路後限過した ・ 本度に此ぶる時は昨年度の製物・ ・ では変がり、一 では変形人 ・ では変がり、一 では変形人 ・ では変がり、 ・ では変形人型ではれて教人 ・ では変形人型ではれて教人 ・ では変形人型では、 ・ では、 ・ では、

事項を聯げ今年度卒業生に し世學院の政聯題を他に別 人は開題されて居たで落別 人は開題されて居たで落別 人は開題されて居たで落別 か特に能し年々其の数を かっ本年は其の数を かっ本年は其の数を

耐寒攻防大演習

鎭江山を目指して

最新式電氣式受信機

出席者二百餘名に達して

少年、一人は同じ年の少女で名前さ名乗つて居る十九ばかりになる

カルター

日午前九時五分野州東で歌を兵七十餘十二日午前九時五分野州東で工兵隊の秘与兵七十餘十二日午後七時十二 が所、會 ぶでは十七日 ・ コの午育九時から午 ・ 大人を歌録 た人歌ッてものなんでせう。港のた人歌ッてものなんでせう。港の 街々でも時折退ひ切ったいたづら

「雌さんは、一種がやなかつたの

守实强

廿二日到着

の一初火事 にはる子分たちはそれぞれ岬の街とにはる子分たちはそれぞれ岬の街とささ被争から離れて、二人の妓のでささ被争から離れて、二人の妓のできるが事かの離れて、二人の妓のできるがある人ですが、五十名 のに、網かにこの仲間を接続して かいこの仲間を接が取りてんだといいますとは絶え即ない れた浮滅少年なんですが、五十名 でも、その製の確定くまい腹見 にの隣山街でも、その製の確定くまい腹見

さころは、天脈な腕前で云ふべき 変を現すんでした。 これびかせながら、観察さ岩部に アルけて、歌音な影響の順へ影響作に かっかけて、歌音な影響の順や影響

た態の様です。彼女は鬼の覧へ手 が髪の帯脈が、練フすらさ葉和で のは用っすこもばかり髪ののびた

悪文悪筆は一生損 S.

手紙習字講

家傳の秘藥に注射の するめくじに随品をかけた様 なめくじに随品をかけた様 に毒を消す注射以上の毒退治に毒を消す注射以上の毒退治に毒を消す注射以上の毒退治

をつづけながら危険なき挿入郷ノイーは梅郷敷のまじつた横頬であるから。 順共 神楽顔を一週間の人でもサミの止らい

確奏



神一戦大事直ちに記します 可受験合格せよ 商講受義験

・コリー切・運動痛・リウマチ・神經痛 瓶詰

(組悪なる模造) 月產三十萬個 發 賣 開 始 川間僻地隈なく照らす 松下電器製作所

佐婦乳兒の 御類りの御用談に應じます 意婆 浅野 静子

子分の一人がある時、女の子たちと彼さの風雅な岩原住ひを楽ん ちと彼さの風雅な岩原住ひを楽ん で、兜に云ったことがあるんです その際に兄賢等アよろしくやつて、セメント権の中へ閉覧めていて、 乳とみ其他腰痛手足の痛む御方法 ををは、 一日一圓

してるさすれば、傷等ア時で一様に暮ら 兜は淡沿に鼻の先で笑って。さ 

映画しの

を順に於ける整成及び粉條子事業 者は今回総合の一部事業さらて養 事業者及び嫉締庶務お低常航等會 事業者及び嫉締庶務お低常航等會 事業者及び嫉締庶務お低常航等會 養鷄事業改善 口惜しさ

飲食店組合

**教專存續** 

展示會につき打合せをなす戯あつ 教養職権を決定し要に第二回職合見本 教験職職に難する

奉天地方委員から

仙石總裁に宛てた

會場で日取

教行の件女子部提出

・ 報合役員に表彰狀さ記念 ・ 期間は絶對辭任せぬこさ ・ 助手の交代体樂廠止の件

▲森本間東聯特務課長 十七日速 陽へ

百六十五百九十二名

人口敷を見るさ左の短くで

奉天驛貨物係の

無事故旬間

十六日から廿五日迄

名の複数をからでは、 さになり選択で決定し十七日午後 こになり選択で決定し十七日午後 こになり選択で決定し十七日午後

耐寒飛行演習

不振の金州驛

親切第一で從業

銀安ごメスに祟られ

◆一頓に減つた昨年の收入

**妬んご總動員にて** 

總收入約卅一萬圓

遂に阿片自殺

昭和六年度の

公費區豫算查定

然で消費を活動が表面が

■な迷げ終って新年宴な配した 一時から吉田屋に於て總會を願き 五年度決第六年度歌第會に就る協

金

日生れ

たち Cito人

三日生れ

大呼んで天狗の第一 ・一位み話して居る沖減少年少女の一位み話して居る沖減少年少女の一 か、虹彩の減門を開いて居るんでが、虹彩の減門を開いて居るんで

さ振る如さの遠ひさ。おい!似子 は前窓さ俺等の遠ひは振られる如い と からい と から と かい と かい と かい と 似子に振られれた用心でもしろい お前選女を振るって解かい るんだぜ

本年はよき講義 就職

先づ